

| セッション名                                      | 開催日時                    | 会場               | 演題番号 | 筆頭演者    | 演題名  |
|---|-------------------------|------------------|------|---------|--|
| 一般演題1<br>倫理教育<br>座長：高田 芳枝                   | 3月15日(土)<br>13:50~15:20 | 第4会場<br>第3教育棟・5F | 01-1 | 吉垣 留美子  | 倫理リンクナース2年目の意識変化   |
|   |                         |                  | 01-2 | 花田 敦子   | 固定少人数グループによる倫理研修 ～研修生の気づきと学び～  |
|   |                         |                  | 01-3 | 中村 めぐみ  | 院内看護師対象の看護倫理コンサルテーション活動報告  |
|   |                         |                  | 01-4 | 鈴木 貴美子  | A病院職員の倫理に対する認識   |
|   |                         |                  | 01-5 | 高田 芳枝   | 倫理的課題報告システム「モヤモヤ報告」の導入と現状  |
|   |                         |                  | 01-6 | 的場 由依   | ナースコールの対応と看護師の倫理観の関係性について  |
| 一般演題2<br>急性期医療における<br>医療・ケア1<br>座長：加藤 互     | 3月15日(土)<br>13:50~15:20 | 第5会場<br>第3教育棟・6F | 02-1 | 上島 智子   | 家族が治療撤退し自宅退院を希望された救急搬送事例   |
|   |                         |                  | 02-2 | 北木 弥生   | 患者・家族の意思を支える医療・ケアチームにおける看護師の役割と課題 -がん終末期患者の鎮静に対する患者・家族の思いの相違に難渋した事例- |
|   |                         |                  | 02-3 | 前澤 直人   | 心肺停止蘇生後の遷延性意識障害患者に医療ケアチームで患者の最善の利益が得られる治療方針を検討した事例                   |
|   |                         |                  | 02-4 | 長尾 大地   | 心停止後の臓器提供を見据えた治療の差し控えに関する倫理的課題                                       |
|   |                         |                  | 02-5 | 澤田 美和   | 脳死下臓器提供ドナーに対する尊厳保持のケア：システムティックレビュー                                   |
| 一般演題3<br>倫理コンサルテーション1<br>座長：樋口 明子           | 3月15日(土)<br>15:30~17:00 | 第4会場<br>第3教育棟・5F | 03-1 | 村井 宏通   | 臨床倫理評価シート作成と今後の課題  |
|   |                         |                  | 03-2 | 蘆田 薫    | 倫理的に悩ましい状況を話し合う方法：日本語版CURAの開発  |
|   |                         |                  | 03-3 | 里見 絵理子  | 日本版MCDジレンマメソッドによる臨床倫理事例検討ファシリテーター養成研修の開発                             |
|   |                         |                  | 03-4 | 明石 恵子   | 医療従事者の倫理的行動に関する質問紙の開発  |
|   |                         |                  | 03-5 | 樋口 明子   | Armstrong Clinical Ethics Coding System(ACECS)日本語版の開発                |
| 一般演題4<br>急性期医療における<br>医療・ケア2<br>座長：日向 園恵    | 3月15日(土)<br>15:30~17:00 | 第5会場<br>第3教育棟・6F | 04-1 | 金子 悦子   | COVID-19病棟看護師が経験したジレンマにおける倫理的悩みの程度による比較検討                            |
|   |                         |                  | 04-2 | 菅野 心葉   | A病院における身体拘束最小化チームの取り組み -老人看護専門看護師の視点から-                              |
|   |                         |                  | 04-3 | 岩本 友香   | 急性期病院での「院内デイケア」開設に向けた取り組み～入院中の高齢者のQOLの維持・向上、身体拘束最小化を目指して～            |
|   |                         |                  | 04-4 | 佐藤 晶子   | 倫理カンファレンスにより身体的拘束を解除した事例   |
|   |                         |                  | 04-5 | 梶音 麻紀子  | 急性期一般病棟の看護師が抱えている倫理的ジレンマ ～現状を知り解消に向けた取り組みへのヒント～                      |
| 一般演題5<br>倫理コンサルテーション2<br>座長：藤田 俊夫           | 3月16日(日)<br>9:00~10:30  | 第4会場<br>第3教育棟・5F | 05-1 | 瀧川 千鶴子  | 子どもが主治医であるときの意思決定の難しさ  |
|   |                         |                  | 05-2 | 木村 京香   | 社会背景の複雑な症例に対する院内倫理コンサルテーション介入の一例                                     |
|   |                         |                  | 05-3 | 吉田 まつみ  | 高齢認知症患者の意思決定支援の過程でストーマ造設を中止した1例                                      |
|   |                         |                  | 05-4 | 相澤 加奈   | 当院における食事ICフォーム作成の取り組み  |
|   |                         |                  | 05-5 | 足立 佳澄   | ナラティブから考える倫理コンサルテーション  |
|   |                         |                  | 05-6 | 岡本 倫枝   | 身寄りのない患者への支援～回復期病棟での看取り～   |
| 一般演題6<br>慢性期医療における<br>医療・ケア<br>座長：下畑 享良     | 3月16日(日)<br>9:00~10:30  | 第5会場<br>第3教育棟・6F | 06-1 | 松本 朋弘   | 急性期摂食・嚥下障害患者におけるtime-limited trial (TLT) の有用性と導入の実践                  |
|   |                         |                  | 06-2 | 柏 潤耶    | 認知機能が低下した患者の胃瘻造設における倫理的ジレンマ ～患者を中心にした意思決定支援～                         |
|   |                         |                  | 06-3 | 肥田 あゆみ  | 認知症患者の支援における倫理的問題点に関する検討 -医療ソーシャルワーカーを対象としたアンケート調査から-                |
|   |                         |                  | 06-4 | 渡邊 淳子   | 当院における高次脳機能障害を有する神経膠腫患者の意思決定の現状                                      |
|   |                         |                  | 06-5 | 下畑 享良   | アルツハイマー病に対するアミロイドβ抗体薬とApoE遺伝子検査に関する臨床倫理的問題                           |
|   |                         |                  | 06-6 | 能登 美月   | 過活動せん妄患者の自立心を尊重した看護実践の一事例  |
| 一般演題7<br>倫理コンサルテーション3<br>座長：望月 葉子           | 3月16日(日)<br>10:40~12:10 | 第4会場<br>第3教育棟・5F | 07-1 | 片山 綾    | 精神科病院における臨床倫理コンサルテーション -院内における臨床倫理カンファレンス実践報告-                       |
|   |                         |                  | 07-2 | 加藤 寿光   | 当院における倫理コンサルテーションチームの設置-倫理ラウンドの立ち上げ-                                 |
|   |                         |                  | 07-3 | 上野 瑞子   | 日常倫理に基づく認知症ケア定着の過程における看護チームの意識・行動の変容                                 |
|   |                         |                  | 07-4 | 尾之上 智世  | ICUにおける倫理的感受性の向上および倫理カンファレンスの充実に向けた取り組み                              |
|   |                         |                  | 07-5 | 三浦 直子   | 倫理委員会の設立による組織文化変革に向けた取り組み  |
|   |                         |                  | 07-6 | 望月 葉子   | 障害者総合医療療育施設での臨床倫理コンサルテーションにおける相談内容                                   |
| 一般演題8<br>在宅医療介護施設に<br>おける医療・ケア<br>座長：永富 美知子 | 3月16日(日)<br>10:40~12:10 | 第5会場<br>第3教育棟・6F | 08-1 | ネルソン 咲子 | 過去にペイシエントハラスメントのあった患者の応召義務についてチームで検討した一例                             |
|   |                         |                  | 08-2 | 山田 登喜子  | 臨床倫理の4分割を活用したケアマネジメント「ACP研修を全職員へ実践しての在宅見取り支援へ」                       |
|   |                         |                  | 08-3 | 上野 沙織   | 高度急性期病院に所属する職員のAdvance Care Planningに関する認識と実践状況の実態                   |
|   |                         |                  | 08-4 | 片山 寛次   | 患者の意思が確認されないまま看取り対象として地域療養病床に入院した症例の検討                               |
|   |                         |                  | 08-5 | 中田 裕子   | 当院の臨床倫理コンサルテーションチーム活動の分析と課題  |

| セッション名                                     | 開催日時                    | 会場               | 演題番号  | 筆頭演者   | 演題名   |
|--|-------------------------|------------------|-------|--------|---|
| 一般演題9<br>倫理コンサルテーション4<br>座長：深谷 基裕          | 3月16日(日)<br>14:10~15:40 | 第4会場<br>第3教育棟・5F | O9-1  | 岩佐 茂美  | 倫理コンサルテーションの一考察～重度嚔下障害2症例を通して～  |
|  |                         |                  | O9-2  | 寺井 堅祐  | 当院倫理コンサルテーションチームの活動と課題（第2報）   |
|  |                         |                  | O9-3  | 許 華    | 中日医師を対象とした医師患者関係モデルと意思決定スタイルに関する質的記述的比較研究   |
|  |                         |                  | O9-4  | 竹内 廣美  | 専門・認定看護師による意思決定支援教育の効果と課題 一意思決定支援の教育コンテンツの活用推進に向けて一                                       |
|  |                         |                  | O9-5  | 村上 文子  | 高齢者等終身サポート事業者による医療に係る意向表明文書に関する調査－中間報告－   |
|  |                         |                  | O9-6  | 深谷 基裕  | 臨床倫理コンサルテーションで初動する事務職の用いているケース・コンサルテーションスキル   |
| 一般演題10<br>倫理委員会<br>座長：深田 陽子                | 3月16日(日)<br>14:10~15:40 | 第5会場<br>第3教育棟・6F | O10-1 | 松山 尚子  | 臨床倫理コンサルテーションチームの活動と展望  |
|  |                         |                  | O10-2 | 篠村 徹太郎 | 県庁所在地にある急性期病院で臨床倫理コンサルテーションチーム立ち上げの経過   |
|  |                         |                  | O10-3 | 細越 万里子 | A病院における臨床倫理コンサルテーションチームの現状と課題   |
|  |                         |                  | O10-4 | 井上 祥明  | 臨床倫理コンサルテーションチームの設置と活動  |
|  |                         |                  | O10-5 | 深田 陽子  | 当院における臨床倫理コンサルテーションチームの医師の役割  |
|  |                         |                  | O10-6 | 大貫 優子  | 神経難病の意思決定支援に関する文献レビュー   |
| 一般演題11<br>小児・周産期における<br>医療・ケア<br>座長：石井 奈三  | 3月16日(日)<br>15:50~17:20 | 第3会場<br>第3教育棟・4F | O11-1 | 山口 大輔  | 小児専門病院における看護職の道徳的感受性と倫理的行動の特徴   |
|  |                         |                  | O11-2 | 松石 由美子 | 注意欠如・多動症（ADHD）の子どもを持つ母親の障害告知後の思い  |
|  |                         |                  | O11-3 | 本間 詩望  | 生殖医療に関連する先端科学技術に対する医療系学生の理解と社会応用に対する態度についての予備的調査  |
|  |                         |                  | O11-4 | 石井 奈三  | 慢性便秘症をもつ学童期の子どもとその母への地域との協働による排泄自立支援  |
|  |                         |                  | O11-5 | 石井 奈三  | 慢性便秘症を克服後の学童期の子どもが新たな婦人科疾患に向き合うための病院・地域との継続的な協働支援   |
| 一般演題12<br>アドバンス・ケア・<br>プランニング<br>座長：村田 さとみ | 3月16日(日)<br>15:50~17:20 | 第4会場<br>第3教育棟・5F | O12-1 | 茂庭 仁人  | 慢性腎臓病のACP   |
|  |                         |                  | O12-2 | 中尾 恭子  | 調布市における市民へのACP普及啓発プログラムの作成と実施報告   |
|  |                         |                  | O12-3 | 中澤 淳子  | 自治体のエンディングノートを活用した急性期病院におけるACP導入への取り組み  |
|  |                         |                  | O12-4 | 木村 駿介  | 当院におけるACP指針の策定  |
|  |                         |                  | O12-5 | 升谷 泰裕  | 認知症専門病院におけるACPへの取り組み  |
|  |                         |                  | O12-6 | 村田 さとみ | 透析クリニックにおけるACP普及活動 第2報  |
| 一般演題13<br>人生の最終段階に<br>おける医療・ケア<br>座長：今泉 浩徳 | 3月16日(日)<br>15:50~17:35 | 第5会場<br>第3教育棟・6F | O13-1 | 立松 あさ  | 倫理コンサルテーションチーム（CECT: Clinical Ethics Consultation Team）における 病態悪化時の意思決定を支援する土台づくりについての活動報告 |
|  |                         |                  | O13-2 | 牧野 佐知子 | 中規模急性期病院におけるDNARに関する現状調査  |
|  |                         |                  | O13-3 | 浜谷 千枝子 | POLSTによる延命処置不希望の事前指示を有する終末期乳がん患者のトルソー症候群の治療に対する意思決定支援                                     |
|  |                         |                  | O13-4 | 佐藤 浩二  | 療養型病院のスタッフが日頃の看護実践で感じる倫理的葛藤に関する実践報告   |
|  |                         |                  | O13-5 | 宮崎 健   | 災害時における意思決定の在り方   |
|  |                         |                  | O13-6 | 辻 守栄   | 患者と家族の間で治療選択が異なるケースへの専門看護師の倫理調整   |
|  |                         |                  | O13-7 | 今泉 浩徳  | 当院のPOLST使用実績評価とACPを考慮した運用検討課題について   |